

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第1回地域福祉計画推進会議	
開 催 日 時	令和5年12月25日(月) 13時30分～15時30分	
開 催 場 所	宍粟市役所北庁舎 401会議室	
議長(委員長・会長)氏 名	地域福祉計画推進会議会長 藤原 慶二	
委 員 氏 名	(出席者) 藤原慶二(会長)、釜井廣子(副会長)、 波多野好則、東 豊俊、春名郷子、鎌田恵司 山本高則、森田 圭、谷林由美、中林久美子	(欠席者)
事 務 局 氏 名	健康福祉部 橋本部長、安井次長、有元次長、大谷次長(兼保健福祉課長) 健康福祉部社会福祉課 西嶋課長、平瀬係長、中川主査 健康福祉部高年福祉課 谷口課長 健康福祉部障害福祉課 小椋課長 健康福祉部福祉相談課 門前副課長	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	(非公開の理由)
決 定 事 項	(議題及び報告事項) ① 開会(健康福祉部長) ② 委員紹介、会長及び副会長の選出 ③ 会長あいさつ ④ 会議の目的【資料1、資料2】 ⑤ 協議事項 「宍粟市地域福祉計画」における (1) 第3期計画の進捗状況について【資料3、資料4】 (2) 第4期計画の策定について【資料5】 ⑥ 報告事項 (1) 今後のスケジュールについて 閉会	

会 議 経 過	別紙のとおり
会 議 資 料 等	<p>【机上配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宍粟市地域福祉計画推進会議要綱【資料1】 ・第4期宍粟市地域福祉計画の概要について【資料2】 ・R4年度取組内容検証シート【資料3】 ・市の取組み・評価指標のまとめ（一覧）体系図【資料4】 ・「第4期宍粟市地域福祉計画」策定のための福祉に関する市民アンケート調査（案）【資料5】
議 事 録 の 確 認 (記 名)	<p>(委員長等)</p> <p>_____</p>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
(事務局)	1 開 会 健康福祉部長 あいさつ 2 委員の紹介及び会長・副会長の選出 (委員の互選により決定)
(藤原会長)	3 あいさつ 会長 あいさつ
(事務局)	4 会議の目的(趣旨の説明) 資料1、2を用いて説明
(鎌田委員)	アンケートについて無作為に抽出することだが、男女の比率や年齢はどうするのか。 若い世代の回答方法は紙よりもスマートフォンを活用してはどうか。
(事務局)	まず1点目の何歳からの対象にするかについて、前回20歳以上を対象としていたが、成人年齢が引下げられたことから18歳以上を対象としてアンケート調査をする予定としている。 ただ、男女の比率については今後の検討としたい。 2点目の回答方法については、今回よりインターネット回答も取り入れ、紙と合わせてどちらかで回答できるようにする予定である。
(森田委員)	5 協議事項 (1) 第3期宍粟市地域福祉計画の進捗について 資料3、4を用いて説明 多重問題世帯について、ダブルケアや8050問題、また生活困窮に社会的孤立など、さまざまな問題を抱えていると課をまたぎ、関わる課が多くなる。その時に各課の連携がうまくいっているかが不安に思うところである。窓口を一本化出来ていないと、結局問題をすべて把握出来ないことになってしまう。 一本化した窓口で柔軟に対応する重層的支援体制整備事業でひとりの担当者もしくはひとつの課で、包括的に対応するという体制でないと、なかなか生きづらさや複数の問題を抱えた家庭を支援していくのは難しいと考えている。
(事務局)	この重層的支援体制整備事業については、これまで高齢者、障がいのある人等、対象者毎に担当課が分かれて対応していたが、窓口を一本化して横断的に支援するよう国は示しているが、本市においては今協議中である。 この制度は市町村の手上げによる任意事業となっており、必須とはなっていないが、本当に支援を必要とする方がスムーズに支援を受けることができるよう、窓口を一本化することが望ましいとは思っている。今後協議する中で、ま

<p>(事務局)</p>	<p>た今回のアンケート調査の結果も踏まえながら本計画へ盛り込んでいく必要があると思っている。</p> <p>少し補足すると、この重層的支援体制整備事業の補助金の制度自体は、今取りかかるのは難しい状況であるが、今、問題が浮き彫りになった際、福祉相談課が総合的な窓口になり、困窮世帯のひきこもりであれば社会福祉課や基幹型支援センターで支援会議やケース会議をしながら連携して進めている。各課との連携は重要であり、スムーズな課題解決にはどういった形が望ましいか今後の組織のあり方を検討中である。まだまだ十分ではないため、また御意見があれば伺いたい。</p>
<p>(藤原会長)</p>	<p>第4期計画には、重層的は必ず入ってくると思うので、それをどう構築していくのかが大きな課題になってくる。構築することが目的になっている自治体が多いが、どう課題解決していくのかが重要である。</p>
<p>(鎌田委員)</p>	<p>市内全体でどれくらいひきこもりの方がいるのか実態を把握しているのか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>令和2年のアンケート調査は、1万2,230人に実施し、有効回答数が5,071人、有効回答率が41.5%、その中で社会的機能が低下していると疑われた方が446人で8.7%。</p> <p>社会的機能低下が疑われた方の中で2次調査を実施し、同意をされた方が69人。69人の中でひきこもりと思われる方が10人あった。</p> <p>それはあくまで社会的機能が低下している方の数値で、全員がひきこもりには該当しないという判断の難しさがある。ひきこもりというものをどう判断するのかというのは、見解がいろいろある。</p>
<p>(藤原会長)</p>	<p>資料4の成果指標や活動指標だが、数値目標を立てることにそぐわない項目もあるように思われるため、次期計画には特にこの5年間で重点的に取り組む必要のある項目のみ数値目標を立てるよう絞っていく必要があると考える。</p> <p>(2) 第4期宍粟市地域福祉計画の策定について 市民アンケート調査(案) 資料5を用いて説明</p>
<p>(藤原会長)</p>	<p>宍粟市の18歳以上人口はどのくらいか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>5歳間隔で統計をとっているため、15歳以上の数値にはなるが、令和5年9月末現在で31,000人となっている。</p>
<p>(藤原会長)</p>	<p>無作為抽出でアンケートを実施するのであれば、男女比はあまり気にしなくてよい。男女比を合わせて、確実に100%回収できるのであれば、合わせる意味はあるが、回収率が半分程度なのであれば、そのまま発送して回答があった分を集計するほうが精度は高くなるのではないかと思う。</p>

<p>(山本委員)</p>	<p>ボランティア活動をしているが、登録グループ数も人数も減少している。加えて高齢化も進み、運営自体が難しくなっている。</p> <p>コロナや戦争で心が閉鎖的になっている社会情勢の中、社会福祉協議会からボランティア活動を呼びかけても手が挙がらない。解消するためには教育面にもっと力を入れて、世の中の仕組みを変えていくような長期的な計画がないといけないと感じる。</p> <p>もう一つ、路線バスとして市内を走っている 200 円バスが、廃止の方向になっている。もっとバスの利用を意識的に促進していく必要があるのではと感じる。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>以前は神姫バスが全便管轄していた。現在は 200 円という低料金で市民が利用できるようになってきている。その財源は、宍粟市が負担をしている。</p> <p>公共交通機関として、福祉や文化教養とかいろんなものに役立ててもらいたいが、やはり利用がないと制度を維持することができないため、福祉活動のみならず自分の生活力を保つために、自動車を運転できる方も時々はこのバスを利用するというのも今後活動の中で必要かと思う。</p>
<p>(波多野委員)</p>	<p>問 16、17 について</p> <p>そもそもボランティア活動という言葉が、本当に市民全体に伝わっているのか。なにをもってボランティア活動と言うのかが疑問である。</p> <p>第三者から見るとボランティア活動をされていると思っていても、その方自身がボランティア活動だと思っていない方もいるかもしれない。</p> <p>たとえば、ふれあい喫茶の手伝いや老人クラブの活動もボランティアというふうに思ってもらえるような、問 16 に結びつくような設問や文言があればよい。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>問 16 と 17 のつながりに違和感がある件ですが、うまくつながるように文言の加筆修正を検討します。</p>
<p>(釜井委員)</p>	<p>問 22-14、問 27、問 28 について</p> <p>宍粟市は雨による災害があり、市民のみなさんも心配している。</p> <p>「地震や台風などの災害」と記載があるが、大雨や豪雨と言った文言を追加してほしい。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>問 22-14、問 27、問 28 について</p> <p>「地震や豪雨災害」と修正を行う。</p>
<p>(藤原会長)</p>	<p>一度、委員の皆様にご回答いただき、事務局にご意見をいただきたい。</p> <p>回答いただくことで、文言や設問の見直しにもなり、市民目線のアンケートにもなる。また回答率を上げる一つの工夫にもつながるため、ぜひお願いしたい。</p>

(事務局)	6 報告事項 (1) 今後のスケジュール 資料2 次回の開催は、令和6年の3月頃に第2回の推進会議を開催する予定
(釜井副会長)	7 その他 なし 8 閉会 副会長 あいさつ

*HP掲載の際は、発言者の表記は、「会長」、「委員」、「事務局」とします。